

編集後記

今回のテーマは「災害・災害復旧」でしたが、幸い、私自身これまでの人生でそういった場面に出くわした事はありません。と、言い切ろうと思ったのですが、良く思い出してみると結構あるようです。

最初に思い出したのが、入社3年目の「座礁船からの油流出事故」です。能登の工事現場の目の前の海で起きました。油処理やら海岸の掃除やらで大騒ぎした事を思い出しました。次は、ダム工事での「台風による仮締切の越流」でした。施工途中のダムが流木で埋まりました。高さが20mはあったと思います。待避箇所に移した重機も完全水没で、かろうじてブームの肘が水から顔を出しているのを、対岸から呆然と眺めていた覚えがあります。この台風は、周辺に大きな被害をもたらしました。ただ、このダムで流木を大量に抑えたので、下流の被害を食い止めたかもしれない、なんて話もありました。この水害は2年続きました。平成10年ごろの話です。ここ最近では本土の台風被害は少ないですが、このころは、毎年大きな台風被害が各地で起きていた気がします。

もう一つは高知県の現場でした。高知には3年居たのですが、高知は、本当に信じられないほど雨が降ります。予報で1,000mmなんていう数字が平気で出てきます。毎年梅雨時期に周辺地区は、床下、床上浸水に見舞われます。現場ヤード周囲も土手とコンクリートで遮水した中での仕事でした。もちろん、ちょっと危なくなったらスタコラ逃げ出しましたが。天然シャワーの様な雨で、降り出すと車を洗っていた覚えもあります。施工していた工事自体も大雨洪水対策のトンネルでした。

こうやって思い出してみると、当たり前ではありますが、私たちの仕事は、災害対策・災害復旧に関する工事の割合が高いぞと改めて認識しています。「建設の施工企画」という機関誌のテーマとしてネタ集めをしている時は、なかなか集めにくい面倒なテーマと思っていました。もっと、私たちの仕事の基盤をなす重要なテーマのはずと、編集後記を書きながら今更ながら気づいた次第です。

最後になりますが、お忙しい中ご執筆をいただいた皆様には深く感謝申し上げます。

(京免・赤神)

11月号「道路」予告

- ・道路橋の保全・補強に関する施策
- ・道路工事における情報化施工技術の本格的展開に向けた取り組み
- ・正面衝突事故対策としてのランブルストリップスの開発と整備効果
- ・高速道路舗装の構造診断に関する研究
- ・高速道路における小型施工機械を用いた締め固め特性
- ・関門トンネルリフレッシュ工事—開通後50年経過したトンネルの老朽化対策—
- ・既設鋼床版の疲労耐久性向上を目的としたSFRC舗装による上面増厚工法
- ・Kui Taishin-SSP工法の概要および施工事例—パイルベント橋脚の耐震補強—
- ・TDRショット工法の道路トンネル坑口部補強工事への適用—硬化促進剤を用いた高品質モルタルの湿式吹付け工法—
- ・LCCに基づくトンネル補修・補強技術の分類と未来型補修機械の方向性
- ・除雪機械技術の動向
- ・舗装工事における監督・検査の効率化

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

編集委員

森川 博邦	国土交通省
山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
齊藤 徹	(株)NIPPOコーポレーション
高木 幸雄	日本道路(株)
宮路 勝善	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

No.716「建設の施工企画」 2009年10月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成21年10月20日印刷

平成21年10月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322